

修士論文（要旨）

2026 年 1 月

中国におけるヤングケアラーの実態に関する研究
—海南省を例に—

指導 中谷 陽明 教授

国際学術研究科
国際学術専攻
老年学学位プログラム
224J5003
張 晨昱

Master's Thesis (Abstract)

January 2026

Study on the Actual Conditions of Young Carers in China: A Case Study of Hainan
Province

ZHANG CHENYU

224J5003

Master of Arts Program in Gerontology

Master's Program in International Studies

International Graduate School of Advanced Studies

J. F. Oberlin University

Thesis Supervisor: Yomei Nakatani

目次

序章	1
第1章 研究背景と意義	3
1.1 中国における高齢化の進展と介護ニーズの拡大	3
1.2 都市化による家族構造の変容	3
第2章 先行研究	4
第3章 研究方法	7
3.1 研究の目的	7
3.2 対象者	7
3.2.1 対象者の募集方法	7
3.2.2 対象者及び被介護者に関する基本情報	7
3.3 調査方法	8
3.4 倫理的配慮	9
第4章 分析	9
4.1 分析方法と手順	9
4.2 KJ法によるカテゴリーの生成	10
4.3 各カテゴリーの詳細分析	13
4.4 ヤングケアラーの生活構造が示す特徴と課題	18
第5章 終章	18
5.1 考察	19
5.2 結論	20
5.3 今後の課題	20

参考文献

資料

序章

中国の高齢化・都市化の中、子どもが家庭内ケアを担う実態は、「ヤングケアラー」として認知されず見えにくい。特に都市部では核家族化と介護サービスの不足が背景にある。本研究は海南省を対象に、その実態を可視化し、支援の基盤構築を目指す。

第1章 研究背景と意義

1.1 中国における高齢化の進展と介護ニーズの拡大

2021年時点で中国の60歳以上人口は総人口の18.9%に達し[1]、2030年前後には超高齢社会に突入すると予測されている[2]。高齢化に伴い介護ニーズは拡大しているが、介護サービス体系は未整備であり、家庭内介護への依存が強い。その結果、家族内で未成年者がケアを担わざるを得ないケースが生じている。

1.2 都市化による家族構造の変容

都市化率の上昇と核家族の増加に伴い、世帯規模は縮小し[3]、家庭内でのケア分担が困難になっている。このような家族構造の変容は、子どもが家族のケアを担う可能性を高める社会的背景となっている。

本研究は、中国海南省の都市部を対象に、家族のケアを日常的に行う15歳から19歳の若者の実態を明らかにし、その生活状況、心理的負担、支援ニーズを質的に把握することを目的とする。

第2章 先行研究

ヤングケアラー研究は欧米で先行し、英国ではその存在と学業・メンタルヘルスへの影響が早くから指摘されてきた[4]。日本でも調査が進み、ヤングケアラーの多くが女性で、家事やきょうだいの世話を中心とすることが指摘されている[5]。中国では、農村部の「留守児童」に関する研究はあるが[6]、都市部のヤングケアラーを直接対象とした研究はほとんどない。

第3章 研究方法

3.1 研究目的

海南省都市部のヤングケアラーの実態を明らかにし、その生活、学業、心理への影響を理解するとともに、支援の方向性を検討する。

3.2 対象者

海南省都市部に住み、家族のケアを日常的に担う15～19歳のヤングケアラー6名を対象とした。

3.3 調査方法

半構造化インタビューを実施し、ケアの内容、負担、影響、支援ニーズ等について聴取した。データは KJ 法を用いて分析した。

3.4 倫理の配慮

2025 年 7 月 8 日に桜美林大学研究活動倫理委員会によって承認された。倫理審査番号は 25023 である。

第 4 章 分析

4.1 分析方法と手順

収集したインタビューデータを KJ 法によって分析し、38 の発言カードからカテゴリを生成した。

4.2 KJ 法によるカテゴリの生成

カードをグループ化した結果、「負担の実態」「心の内面」「周りの関係」「社会への要望」「内面的変化」の 5 つの主要カテゴリが形成された。

4.3 各カテゴリの詳細分析

①負担の実態：日常的に 5 時間以上のケアを担い、学業や社会生活が制約されていた。②心の内面：孤独感、不安等のストレスが蓄積。③周りの関係：家族関係は両義的で、外部支援は限定的。④社会への要望：日中預かりサービス等の具体的支援が切望された。⑤内面的変化：ケア経験を「孝行」や「恩返し」と意味づける文化的価値観の影響が認められた。

4.4 ヤングケアラーの生活構造が示す特徴と課題

分析から、①重い負担と乏しい公的支援の深刻なアンバランス、②家族関係の複雑な両義性、③文化的価値観による「意味づけ」が外部支援を阻みうる点、という三つの特徴と課題が浮かび上がった。

第 5 章 終章

5.1 考察

本研究は、ヤングケアラーが直面する時間的・心理的負担が国際的に共通する構造的課題であることを確認した。一方で、中国の対象者には、自身の役割を「孝行」として内面化し、「ケアラー」としての自己認識が弱いという特徴があった。この文化的・心理的な要因は、支援へのアクセスを阻む独自の障壁として作用している。したがって、公的なサービスを整備するだけでなく、このような文化的背景を踏まえた意識的な働きかけが不可欠である。

5.2 結論

第一に、子どもによる家庭内ケアが農村・都市を問わず存在する構造的課題であることを示した。第二に、中国都市部のヤングケアラーの実態を質的に描出し、その「見えにくさ」の背景に文化的な自己認識の問題があることを明らかにした。

5.3 今後の課題

今後は、量的調査による実態の広域的把握、対象者背景の多様性や他地域との比較を通じた理解の深化、および文化的配慮を組み込んだ支援策の具体的検討が課題となる。

参考文献

- [1] 育娲人口研究. (2023). 中国人口予測報告 2023 版. 梁建章, 任澤平, 黄文政, 何亜福. (<https://file.c-ctrip.com/files/6/yuwa/0R70112000ap4aa8z4B12.pdf>. pdf. アクセス)
- [2] 陸杰華, & 刘芹. (2021). 中国老齡社会新形態的特征, 影响及其応対策略. 人口与經濟, (5).
- [3] 人民網日本語版. (2021). 一人暮らし・夫婦のみ・高齢者のみの「一世代世帯」が約 5 割に 中国. 『人民網日本語版』.
- [4] Dharampal R, Ani C. The emotional and mental health needs of young carers: what psychiatry can do. BJPsych Bull. 2020 Jun;44(3):112-120.
- [5] ヤングケアラーについての調査を実施 ケアを担う子ども（ヤングケアラー）についての南魚沼市調査 (PDF) (2015. 12. 1)
- [6] 汪義貴, & 徐生梅. (2022). 中国農村留守儿童心理健康研究述評 (2004-2022). 陝西学前師範学院学報. 38 (11), 111-119.